

(別紙4(2))

事業所名 きたふくグループホーム「自悠の郷」 帆柱作成日: 平成 28 年 10 月 27 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	職員を育てる取り組み	管理者を中心にチームワークの取れた介護の実践に取り組んでいるが、これからのグループホームとして、運営が安定して行なわれるための、若手の職員の介護技術の向上と意識の高揚を目指していく。	その時代に合わせたグループホームを目指し、他事業所の管理者や職員との相互交流を図り、地域のグループホーム間の協力体制を構築し、職員の意識改革と介護力の向上を目指していく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	外部の参加メンバーが少なく、会議が形骸化してきたので、複数の民生委員や薬剤師、地域で活躍している有識者や知見者を募り、ホームの運営や業務改善に反映出来る会議を目指していく。	ホームの運営に繁栄させる取り組みと、参加委員にとっても、介護や認知症について知識を得たり、情報を共有出来る会議として、参加委員が、また参加したいと思える運営推進会議を目指していく。また、地域の課題についても取り組んでいくように努力していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。